



## 2018年

## 岩手県北鳥インフルエンザ警戒情報

昨年度と比較して、今年は静かな印象を受けますが・・・

★★★「これからが警戒シーズンの本番」です★★★

★過去の家きんの発生は、85%が1月以降 (47/55例)

★北東北～北海道の野鳥では、3～5月に検出される事例が多い。

シーズン	家きん	野鳥
H15-16	1/12～3/5	-
H18-19	1/13～2/1	-
H19-20	なし	4/20～5/8 (十和田湖が最終)
H22-23	11/29～3/16	10/14～3/15 (青森県三沢市が最終)
H25-26	4/13	-
H26-27	12/16～1/18	11/3～2/17
H28-29	11/28～3/24	11/6～3/8 (盛岡市が最終)
H29-30	1/11	11/5～3/25 (兵庫県伊丹市が最終)

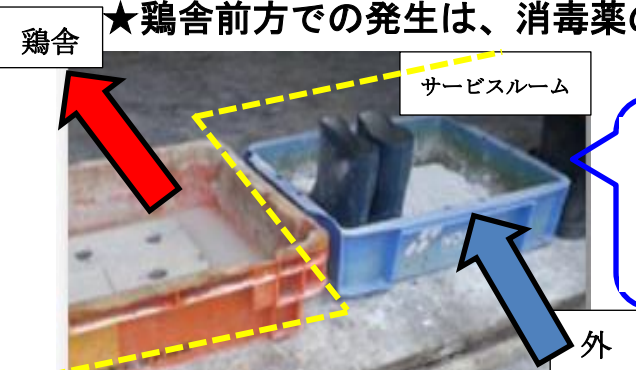
### 現時点での発生状況等

- ★ 韓国の野鳥で計 24 例から H3 又は H5 亜型の AIV 検出 (HPAI は未検出)
- ★ 県内では 9 月以降、13 例の野鳥の死体を検査、全例陰性 (県北 1 例 オオハクチョウ含む)

### 国の疫学調査報告書より

- ★ 鶏舎の奥または中央から発生は、人気ない場所で野生動物の関与が (香川)
- ★ 鶏舎前方での発生は、消毒薬の凍結による効果低下の可能性も (北海道)

**消毒と共に長靴の履き替えが確実**



サービスルームでの  
ゾーニングを徹底し、  
交差汚染を防止!



目指します!! 家畜の健康と安定した畜産経営

みんなでまもろう! 養鶏産地県